



Cisco IOS ソフトウェア アクティベーションの概念的な概要

Cisco IOS ソフトウェア アクティベーション機能は、シスコソフトウェア ライセンスを取得および確認して、Cisco ソフトウェアのフィーチャ セットをアクティブにするための、プロセスおよびコンポーネントの統合コレクションです。この機能を使用すると、ライセンス供与される機能を有効化して、次の方法でライセンスを登録できます。

- Cisco Product License Registration ポータルを使用。
- デバイスで Cisco EXEC コマンドを入力。
- Cisco License Manager を使用して、ネットワーク全体にわたる配置を対象にライセンスを一括して登録、取得、およびインストール。

このマニュアルでは、Cisco ソフトウェアのライセンシング プロセスの概要を示し、それらのプロセスでの Cisco IOS ソフトウェア アクティベーション機能の役割を説明します。

- [機能情報の確認 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ソフトウェア ライセンシング プロセスに関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(12 ページ\)](#)
- [Cisco IOS ソフトウェア アクティベーションの機能情報 \(13 ページ\)](#)
- [用語集 \(13 ページ\)](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、「[Bug Search Tool](#)」およびご使用のプラットフォームおよびソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<https://cfnnng.cisco.com/>に進みます。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

Cisco ソフトウェア ライセンシング プロセスに関する情報

Cisco ソフトウェア ライセンシングの概念

Cisco Product License Registration ポータル

Cisco Product License Registration ポータル (<http://www.cisco.com/go/license>) では、次のライセンス操作を実行できます。

- 製品認証キー（PAK）を登録してライセンスを取得します。
- 返品許可（RMA）交換用ライセンスに登録します。
- ライセンスの管理（ライセンスを検索し、リホスト チケットをアップロードしてください）。
- ライセンスの移行

ポータルにアクセスするには、Cisco.com アカウントが必要です。

製品認証キー

Cisco Product License Registration ポータルを使用するには、PAK が必要になる場合があります。PAK は、特定のプラットフォーム向けのフィーチャセットの使用権を注文して購入すると提供されます。PAK は受領書の代わりになるもので、ライセンスの取得およびアップグレードにおける重要なコンポーネントです。

バルク PAK を購入して、デバイスのライセンスを複数取得することもできます。

UDI

Cisco ソフトウェアでは、保存されている固有デバイス識別子（UDI）とそのデバイスの UDI とを比較してライセンスの検証チェックを実行します。UDI とは、すべての Cisco ハードウェア デバイスに割り当てられる一意で変更不可能な識別子です。

UDI の主要なコンポーネントは、製品 ID（PID）とシリアル番号（SN）の 2 つです。UDI はほとんどのシスコのハードウェア デバイスに、デバイスの背面にあるラベルに印刷されており、**show license udi** コマンドを使用して表示させることができます。



(注) ライセンスを登録するときには、正しい UDI を使用する必要があります。

Cisco ソフトウェア ライセンスの検証

Cisco ソフトウェア ライセンシングは、検証キーのシステムを使用して、新しいフィーチャセットを配置するための簡単なメカニズムを提供します。これにより、ソフトウェアをアップグレードおよび保守するための高度な機能がシスコのお客様に提供されます。

シスコ デバイスの一部のフィーチャセットでは、有効にするためにライセンス キーが必要である場合があります。ライセンス キーはシスコ ライセンシング ポータルを使用して取得します。ポータルでは、特定のシスコ ソフトウェア フィーチャセットのライセンス キーが発行され、ライセンスは UDI デバイスにロックされます。（これはノード固定ライセンスと呼ばれます。）

Cisco License Manager

Cisco License Manager は、シスコのお客様に無料で提供されるクライアント ベースまたはサーバ ベースのアプリケーションで、ネットワーク上のシスコ デバイスを自動的に検出し、ライセンス キーの収集タスクを簡素化します。

詳細については、『*User Guide for Cisco License Manager*』（URL : http://www.cisco.com/en/US/products/ps7138/products_user_guide_list.html）を参照してください。

ソフトウェア エンド ユーザ ライセンス 契約書

ライセンシング プロセスの一部として、エンド ユーザ ライセンス 契約に記載されている条件に同意する必要があります。初めて新しいデバイスを使う際に契約は黙示的に承認されます。ただし、評価および拡張一時ライセンスのためのフィーチャセットをアクティブにする前に明示的に契約に同意する必要があります。

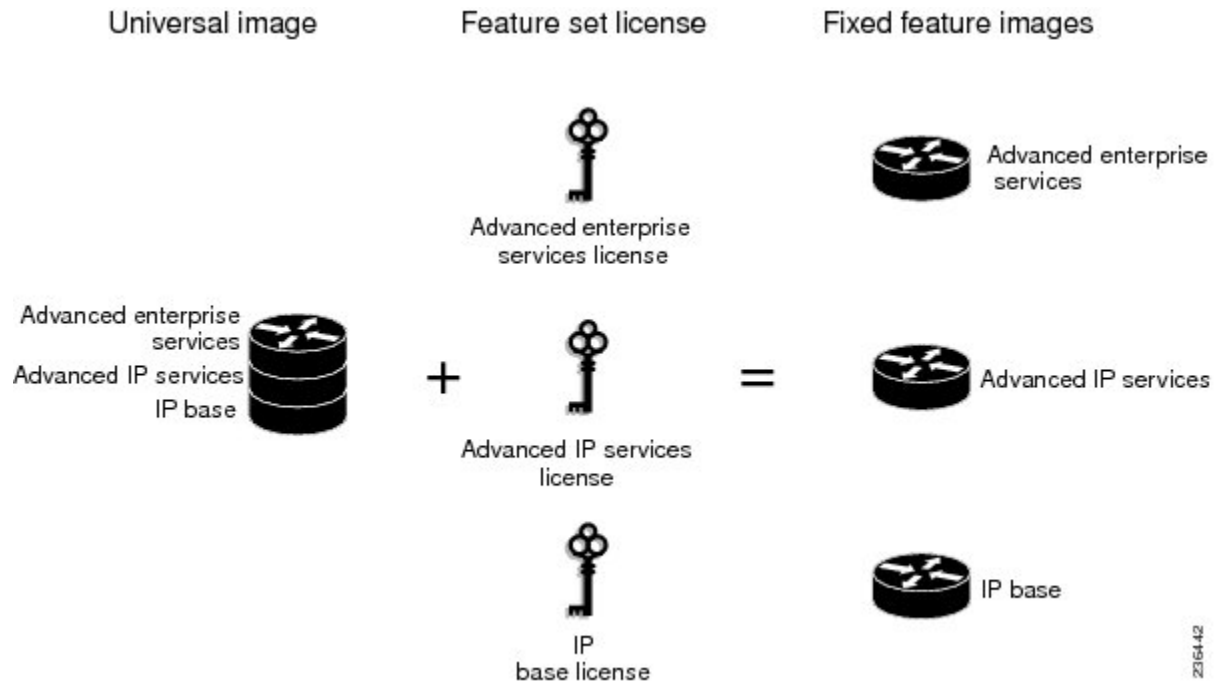
エンド ユーザ ライセンス 契約書の条項は次の URL から確認できます。
http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/EU1KEN_.html

イメージと機能のライセンス モデル

Cisco IOS ユニバーサル イメージ ベースのライセンス

Cisco IOS ユニバーサル イメージには、1 つのイメージにすべての固定された機能イメージが含まれています。デバイスにインストールされているライセンスに基づいて必要な機能にアクセスできます。高度な機能セットのライセンスは低レベルの機能セットの内容を継承します。次の図は、ユニバーサル イメージができる機能セットと固定した機能イメージの例を示します。

図 1: ユニバーサル イメージのコンポーネントの例



プラットフォームには、すべての固定機能イメージのスーパーセットである単一のユニバーサルイメージがあります。固定機能イメージは、イメージにシステム機能の一部だけが含まれるパッケージの古い形式です。プラットフォームでサポートされている固定機能イメージは事前に定義されており、プラットフォームによって異なります。特定の固定機能イメージの機能性はライセンスの可用性に基づいて有効になります。

ソフトウェアパッケージはパッケージの総数を統合し、すべてのハードウェア製品で一貫したパッケージ名を使用することで、イメージの選択プロセスを簡素化します。

購入するイメージレベルのライセンスに対応するすべてのサブシステムを起動させるために、イメージベースのライセンスが使用されます。イメージライセンスはブート時のみ適用されます。

シスコ デバイスのアップグレードに使用できる機能セットは、次の URL からアクセスできる Cisco IOS ソフトウェア パッケージの Web ページに掲載されています。

<http://www.cisco.com/en/US/products/sw/iosswrel/ps5460/index.html>

機能ベースのライセンス

イメージベースライセンスが使用され、適切なサブシステムが有効化されると、個々の機能を有効にするために個々の機能ライセンスが使用されます。

ライセンスキーは、個々の機能を有効または無効にします。機能は有効になる前に自身のライセンスを確認し、以下に基づいて動作を調整します。

- 無期限ライセンスの有効化

- 期限付き評価ライセンスの期限切れ
- サブスクリプション ライセンスの有効性

ライセンスタイプ

永久ライセンス

永久ライセンスは永続的です（つまり、使用期間が関連付けられていません）。恒久ライセンスをインストールすると、ソフトウェアイメージの機能にアクセスするために必要なすべての権限が提供されます。ソフトウェアのインストール中、すべての恒久ライセンスはシスコのライセンシングインフラストラクチャによってノードが固定され、検証されます。恒久ライセンスをインストールすれば、その後のリリースでもライセンスをアップグレードする必要はありません。

シスコの製造部門では、購入された機能セットに対応するパーマネントライセンスを、注文されたデバイスにプリインストールします。ソフトウェアのアクティベーションプロセスを使用して新しいデバイスのライセンスを有効にする必要はありません。

一時ライセンス

一時的なライセンスの使用は、特定の期間（たとえば 60 日間）に限定されます。一時ライセンスをアクティブにする前に、エンドユーザライセンス契約に同意する必要があります。

一時ライセンスには 3 種類あります。シスコのイメージに組み込まれたもの、Cisco Product License Registration ポータルから取得する評価ライセンス、およびシスコテクニカルアシスタンス センター（TAC）から取得する拡張ライセンスです。

組み込みライセンスも評価目的に使用できますが、組み込みライセンスは非常時のみの使用を推奨しています。評価ライセンスはセルフサービスの Cisco Product Licensing Registration ポータルから取得します。

次の各項では、一時ライセンスのタイプを詳しく定義します。

緊急用の組み込みライセンス

デバイスが故障した場合にネットワークのダウンタイムを回避する際に、代替りのデバイスに故障したデバイスと同じライセンスがない場合、ソフトウェアイメージの組み込みライセンス（評価ライセンス）を使用します。これを使用するとライセンスキーを必要とせずに必要な機能を実際に設定できます。ただし、この場合でも、エンドユーザライセンス契約に同意する必要があります。また、このタイプのライセンスには 60 日の使用期限があることをご了承ください。



（注） RMA 交換用無期限ライセンスは、Cisco Product License Registration ポータルで取得できます。

評価ライセンス

評価ライセンスも一時的なものであり、新しいハードウェアでフィーチャセットを評価するために使用します。

シスコ ライセンシング ポータル ([Licensing Portal for Demo Licenses](#)) から評価ライセンスを取得します。



(注) 評価ライセンスの期限が切れる前に、Cisco Product License Registration ポータルにアクセスしてライセンスのステータスをアップグレードする必要があります。

拡張ライセンス

評価ライセンスの期限が切れた場合、TACに連絡して拡張ライセンスを取得できます。拡張ライセンスは、評価ライセンスと同様にノード固定で、使用方法に応じて有効期間が特定の期間（60 日など）に制限されます。



(注) 拡張ライセンスの使用許可を取得する必要があります。

非カウントまたはカウント ライセンス

機能ベースのライセンスはカウント ライセンスか非カウント ライセンスのいずれかです。非カウント ライセンスにはカウントはありません。カウント ライセンスには一定の回数が割り当てられています。システムで使用する有効な機能のインスタンスを示す回数がライセンスに関連付けられているということです。

成長に応じて拡張可能なモデル

成長に応じて拡張可能なモデルでは、ライセンスキーを使用して、ハードウェアとソフトウェアの容量をアップグレードします。新しいハードウェアを追加するために RMA を完了する必要はありません。アップグレードを購入して、電子的に配信させて、ライセンスキーを使って容量を増やします。シスコ ワイヤレス コントローラーは、ワイヤレスサービスのためのアクセスポイントを 12、25、50、100、または 250 箇所と動的に拡張する例の 1 つです。

サブスクリプション ライセンス

サブスクリプションライセンスは、一定期間ライセンス対象の機能にソフトウェアの強化を提供します。

これらのノード固定ライセンス タイプはサブスクリプション ライセンスでサポートされています。

- 評価サブスクリプション ライセンス
- 拡張サブスクリプション ライセンス

- 有料サブスクリプション ライセンス

ソフトウェア アクティベーション プロセス

ソフトウェア アクティベーションでは、ライセンス キーを使用して、デバイスのさまざまなフィーチャセットを有効にします。

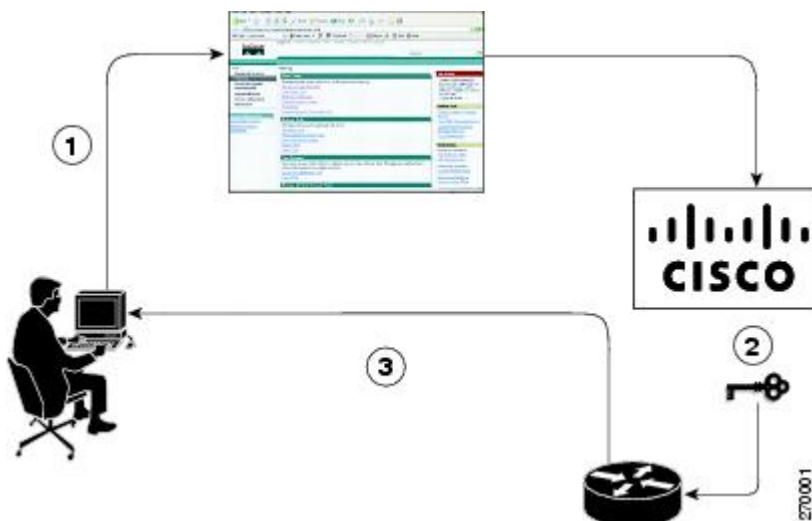


(注) ソフトウェアに機能またはメンテナンスアップグレードをいつでも適用できます。メンテナンスアップグレードでは、ソフトウェア アクティベーション プロセスを使用する必要はありません。

製造時にプレインストールされるライセンス

次の図は、製造時にプレインストールされるライセンスのワークフローの概要を示します。

図 2: 製造時にプレインストールされるライセンスのワークフロー



製造時にプレインストールされるライセンスのワークフローを次に示します。

1. シスコの販売注文ツールを使用してシスコのデバイスを注文します。
2. ITシステム製造部門は発注情報を取得し、デバイスを製造します。また、製造部門はライセンス サーバにアクセスして製造中のデバイスのライセンス キーを取得し、デバイスにコードをインストールします。デバイスが出荷されます。
3. デバイスを取り付けて設定し、デバイスの運用を開始します。ソフトウェアを使用前にアクティブ化または登録する必要はありません。新しいデバイスは、受信して実行する準備ができました。

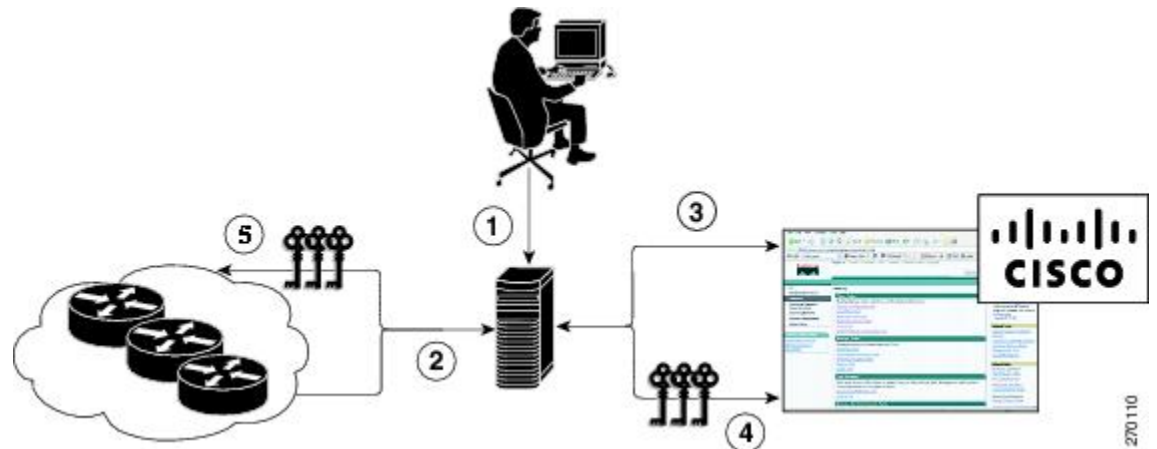
Cisco License Manager を使用したソフトウェア アクティベーションの自動化

Cisco License Manager は、さまざまなデバイスの Cisco Product Licensing Registration ポータルと透過的に連携します。Cisco License Manager アプリケーションを導入すると、ソフトウェア ライセンスをアップグレードおよび登録する手順の多くを自動化できます。たとえば、PAK を入力して、ライセンスをインストールするデバイスを選択できます。

ネットワーク全体にわたる配置の場合、Cisco License Manager は、セキュリティで保護された方法で Cisco.com のバックエンド ライセンス取得システムと通信し、取得したライセンスをネットワーク全体の管理対象デバイスに配置することで、ライセンスに関連するすべてのワークフローを自動化できます。また、導入されたライセンスのインベントリを保持したり、ライセンス レポートを生成したりすることもできます。

次の図は、Cisco License Manager による自動アップグレードでライセンスをアップグレードするワークフローを示します。

図 3: Cisco License Manager による自動アップグレードでのライセンスのアップグレードのワークフロー



自動化されたライセンス移動によるライセンスアップグレード用のワークフローは次のとおりです。

1. Cisco License Manager は移動元デバイス、移動先デバイスおよび移動する在庫保管単位 (SKU) を特定します。
2. Cisco License Manager は自動的に移動元デバイスのデバイス認定証を特定します。
3. Cisco License Manager は、自動的に Cisco.com と通信して、リホストのプロセスを開始するために使用される許可チケットを取得します。リホストチケットを取得するために送信元デバイスへ許可チケットが適用されます。
4. Cisco License Manager は、移動先デバイスの UDI を通じて自動的にリホストチケットを送信し、Cisco Product Licensing Registration ポータルからライセンス キーを自動的に取得します。
5. Cisco License Manager が移動先デバイスにライセンス キーを自動的にインストールします。

詳細については、『*User Guide for Cisco License Manager*』

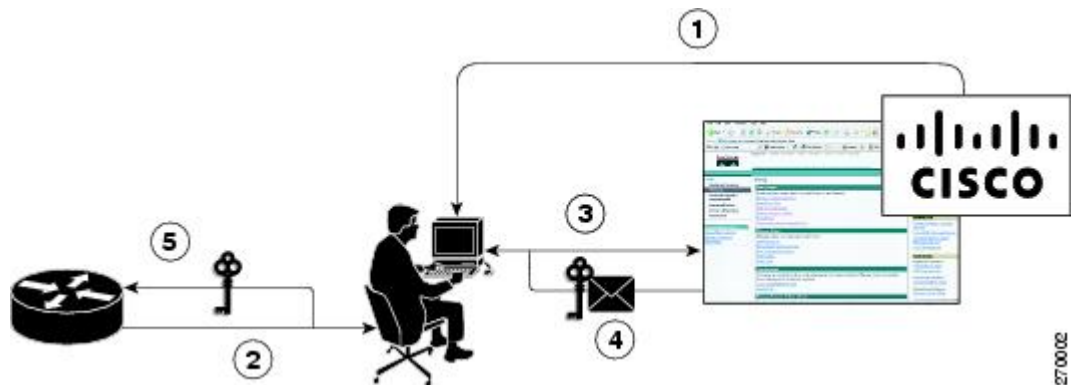
(http://www.cisco.com/en/US/products/ps7138/products_user_guide_list.html) を参照してください。

EXEC コマンドを使用したライセンス ソフトウェア アクティベーション

ライセンス キーを電子メールで電子的に、または郵送で受信した後、シスコ EXEC コマンドを使用してライセンスをインストールします。

次の図は、手動によるライセンス履行のアップグレード手順のワーク フローを示します。

図 4: 手動によるライセンス履行のためのライセンス アップグレードのワークフロー



手動によるライセンス履行のライセンス アップグレード プロセスのワーク フローは次のとおりです。

1. 希望するライセンスの種類に必要な PAK を購入します。一部 PAK を必要としないライセンスには契約が必要な場合があります。
2. デバイスから UDI を取得します。
3. Cisco Product License Registration ポータルに UDI と PAK を入力します。契約ライセンスの場合は非 PAK ベース ライセンスのリンクに従い、デバイスの UDI を送信します。
4. ポータルは PAK に関連付けられる SKU を取得します。SKU を選択して、ライセンスのインストール先であるデバイスの固有で変更不可能な識別子 UDI を入力します。ライセンスキーが電子メールで送信されるので、キーを使ってライセンスをインストールします。
5. CLI を使ってライセンス ポータルからデバイスに戻されたライセンス ファイルをインストールします。

デバイス間でのライセンスの転送

シスコでは、デバイス間でのライセンスの移動シナリオとして次の 2 つをサポートしています。

1. 最初のシナリオでは、移動元デバイスと移動先デバイスの両方がアクティブになっていて正常に動作しています。このシナリオでは、移動元デバイスのライセンスを取り消して、移動先デバイスに対して新しい永久ライセンスを発行します。

2. 2 番目のシナリオは、いずれかのデバイスが使用できない障害シナリオです。このシナリオでは、故障したデバイスのライセンスは Cisco Product License Registration ポータルにある RMA ライセンス転送プロセスを使って RMA または交換されたデバイスに転送されます。

次の項では、このような場合について説明します。

2つの稼働中のデバイス間でのライセンス移動

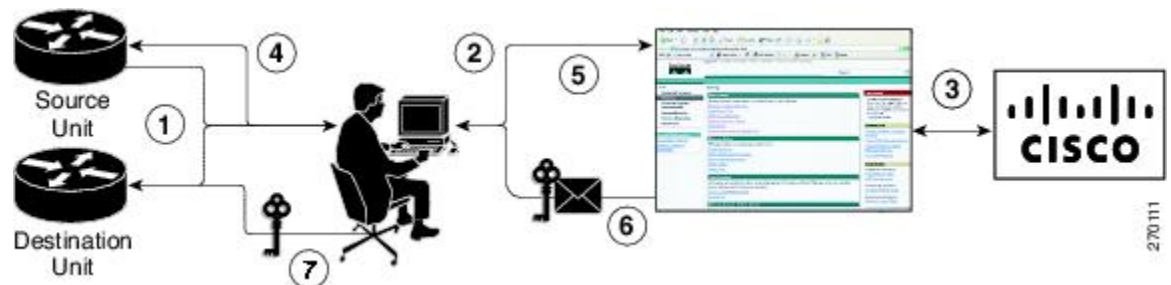
シスコでは、すべて自動化された、お客様主導の、質問されることがないライセンス移動をサポートしています。2 つの稼働中のデバイス間のライセンス転送は、再ホストと呼ばれるプロセスを使用して実行します。再ホストプロセスでは、移動元デバイスのライセンスを取り消して、新しいデバイスにライセンスをインストールすることで、ある UDI から別の UDI にライセンスを移動します。

次のいずれかの方法を使用して、ライセンス移動（再ホスト）を実行します。

- Cisco Product License Registration ポータル
- Cisco IOS License Call Home コマンド
- Cisco License Manager アプリケーション

下の図に、ライセンスの再ホスト（移動）のプロセスを示します。

図 5: ライセンスの移動のワークフロー



次に、Cisco Product License Registration ポータルを使用したライセンスの移動プロセスの概要を示します。

1. CLI コマンドを使用して、移動元デバイスと移動先デバイスから UDI とデバイス認定証を取得します。
2. Cisco.com の製品ライセンス登録ページにアクセスし、ライセンス移動ポータル ツールに移動元デバイスのデバイス認定証と UDI を入力します。
3. 移動元デバイスから移動できるライセンスがポータルに表示されます。
4. 移動するライセンスを選択します。権限チケットが発行されます。この権限チケットを使用すると、CLI コマンドで再ホスト プロセスを開始することができます。
5. **license revoke** コマンドを使用して送信元デバイスに権限チケットを適用します。取り消しの証拠となる再ホスト チケットが移動元デバイスから発行されます。デバイスには、60

日の猶予期間付きのライセンスもインストールされます。これにより、移動先デバイスへのライセンスの移動に必要な時間が確保されます。

6. Cisco.com のライセンス移動ポータル ツールに、再ホスト チケットと移動先デバイスの UDI を入力します。
7. ライセンス キーを電子メールで受け取ります。
8. 移動先デバイスにライセンス キーをインストールします。

license call-home resend コマンドの実行後、送信元デバイスが Cisco Product License Registration ポータルに連絡し、送信元デバイスからライセンス キーを取り消した後で移動先デバイスのためのライセンス キーを取得します。送信元デバイスに保存されているライセンス キーが移動先デバイスにインストールされて転送が完了します。

Cisco License Manager を使用して、自動処理のための GUI ウィザードから送信元デバイスと移動先デバイスを選択できます。

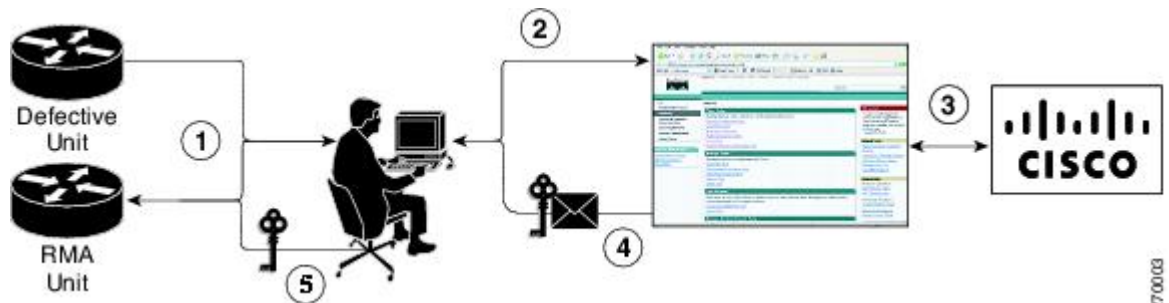
問題のあるデバイスと作動デバイスの間の RMA ライセンスの移行

問題のあるデバイスから新しいデバイスにソフトウェア ライセンスを転送する前に、Cisco Product License Registration ポータルに両方のデバイスから UDI 情報を入力する必要があります。ポータルで RMA 交換ライセンス (<http://www.cisco.com/go/license>) が発行されます。

ライセンスの取得に関するサポートが必要な場合には、次の URL にある Technical Assistance Center (TAC) にご連絡ください。 <http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html>

次の図は、RMA 交換ライセンスのライセンス移行のワークフローを示します。

図 6: RMA 交換ライセンスのライセンス移行のワークフロー



RMA 交換ライセンスのプロセスの手順を次に示します。

1. 欠陥のあるデバイスと RMA デバイスの UDI を取得します。
2. Cisco.com の RMA ライセンス ポータル ツールに UDI を入力します。
3. ライセンス ポータルで欠陥のあるデバイスに関連付けられているライセンスが特定されます。
4. ライセンス ポータルが交換ライセンスを発行します。
5. 新しいデバイスに新しいライセンスをインストールします。

ライセンスの再送信要求

元のライセンスが紛失あるいは間違った場所にある場合、特定の UDI 用のライセンスがすべて再送信されるように EXEC コマンドを入力します。受信したライセンス行はコマンドによって指定した場所に保存されます。

Cisco License Manager では、容易に操作できる GUI でこの機能を実行することができます。



(注) ライセンス再送信を要求するにはインターネット接続が必要です。

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS コマンド	『 Master Commands List, All Releases 』
ソフトウェア アクティベーション コマンド	『 Software Activation Command Reference 』
ソフトウェア アクティベーション 設定	「Cisco IOS ソフトウェア アクティベーション機能の設定」モジュール。

MIB

MIB	MIB のリンク
CISCO-LICENSE-MGMT-MIB	選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェア リリース、およびフィーチャ セットの MIB の場所を検索しダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
右の URL にアクセスして、シスコのテクニカルサポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

Cisco IOS ソフトウェア アクティベーションの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: Cisco IOS ソフトウェア アクティベーションの機能情報

機能名	リリース	機能情報
Cisco IOS ソフトウェア アクティベーション	12.4(15)XZ 12.4(20)T 15.0(1)M	<p>Cisco IOS ソフトウェア アクティベーション機能は基本ライセンス プロセスをサポートします。</p> <p>この機能はプラットフォームに依存していません。</p> <p>下記の機能モジュールでは、Cisco ソフトウェア アクティベーションについての情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Cisco IOS ソフトウェア アクティベーション機能の設定」モジュール。

用語集

Cisco License Manager : ライセンスを追跡および管理するためのグラフィカルユーザインターフェイス (GUI) を提供するソフトウェア ツール。

license file : シスコ ライセンシング ツールで生成されるファイル。製品にライセンスをインストールするために使用されます。ライセンス ファイルには、1 つ以上のライセンス行が格納されます。

license key : シスコ ソフトウェア フィーチャ セットの使用权を有効にする一意の値。

license line : 特定の形式で配置された文字列。1 つの機能のライセンスを保持します。1 つの行には、必要なすべてのフィールドと属性が含まれています。これにより、有効で、改ざんできない、完成したライセンスになります。単一の行は個別に存在できます。

license manager : お客様のライセンスの追跡および管理に使用されるアプリケーション。

license server : ハードウェアの製造所にあるソフトウェア ツール。製品ライセンスを生成します。

license storage : ライセンス行のコレクションを格納するファイル。ライセンス ファイルは、ライセンスを取得したデバイスにあります。このファイルは永続ストレージ内にあります。

node locked : 一意のライセンスの、一意のハードウェア プラットフォームへの明示的なバインディング。ノード固定ライセンスは、システム内の UDI の 1 つに固定されます。非ノード固定ライセンスは、どの UDI にも固定されません。

PAK : 製品認証キー。PAK は、特定のプラットフォーム向けのフィーチャ セットの使用权を注文して購入すると提供されます。PAK は受領書の代わりになるもので、ライセンスの取得プロセスの一部として使用されます。

permission ticket file : 手動リホスト プロセス中にリホスト チケットを取得するために使用されるシスコのライセンシングにより生成されるファイル。権限チケット ファイルには、リホストするライセンスの追加および削除操作が 1 つ以上含まれています。

perpetual license : 使用权が恒久的に継続するライセンス。これらのライセンスは、必要な限り恒久的に使用できます。

persistence storage : ライセンスが付与されたデバイスのライフタイムにわたって存続し、イメージが変更された場合でも削除されないファイル。このファイルは、書き込みが一度しかできないストレージ領域に格納されます。永続ファイルでは、デバイスのライセンス履歴と、ライセンスの削除、期限切れ、再ホストなどに関する特定の情報が保持されます。

rehost : あるプラットフォームから別のプラットフォームに有効なライセンスを移動するプロセス。これは、元のプラットフォームでライセンスが無効になることを意味します。

removable storage : コンパクト フラッシュまたは USB など、データの保存およびアクセスに使用するポータブル デバイス。

RMA : 返品許可。お客様が欠陥のある製品を返品するプロセスです。

signature server : 製品のライセンスを生成するサーバ。シスコの製造所にあります。権限ファイル ジェネレータと呼ばれることもあります。

SKU : 在庫保管単位。インベントリの追跡および監視に使用される、一意の個別部品番号。シスコ ソフトウェア ライセンシング SKU は、1 つ以上のソフトウェア機能にマップされます。

stack : スイッチ スタック。StackWise ポートを介して接続された、最大 9 個の Catalyst 3750 スイッチのセットです。

subscription-based licenses : ユーザによる定期的な更新を必要とする時間ベースのライセンス。ユーザが定期的に更新しないと、契約期間の経過後にライセンスの有効期限が切れます。

SWIFT : Software Infrastructure and Fulfillment Technology。HTTPS を使用してインターネット経由でアクセスするシスコのライセンシング インフラストラクチャ。Cisco License Manager は、さまざまなデバイスに代わってシスコ ライセンシング インフラストラクチャと通信します。シスコソフトウェアのコマンドを使用して、シスコライセンシングインフラストラクチャと通信できます。

UDI : 一意のデバイス ID。UDI は、シスコ全体で使用される製品識別スキーマです。UDI には、製品 ID、バージョン ID、およびシリアル番号が含まれます。UDI は導入時に変更されません。UDI という用語がライセンシングのコンテキストで使用される場合、通常は製品 ID とシリアル番号だけを指します。

universal image : シスコのすべての機能レベルを含む単一のソフトウェアイメージ。これらのレベルは、適切なライセンスをインストールすることで有効化できます。

